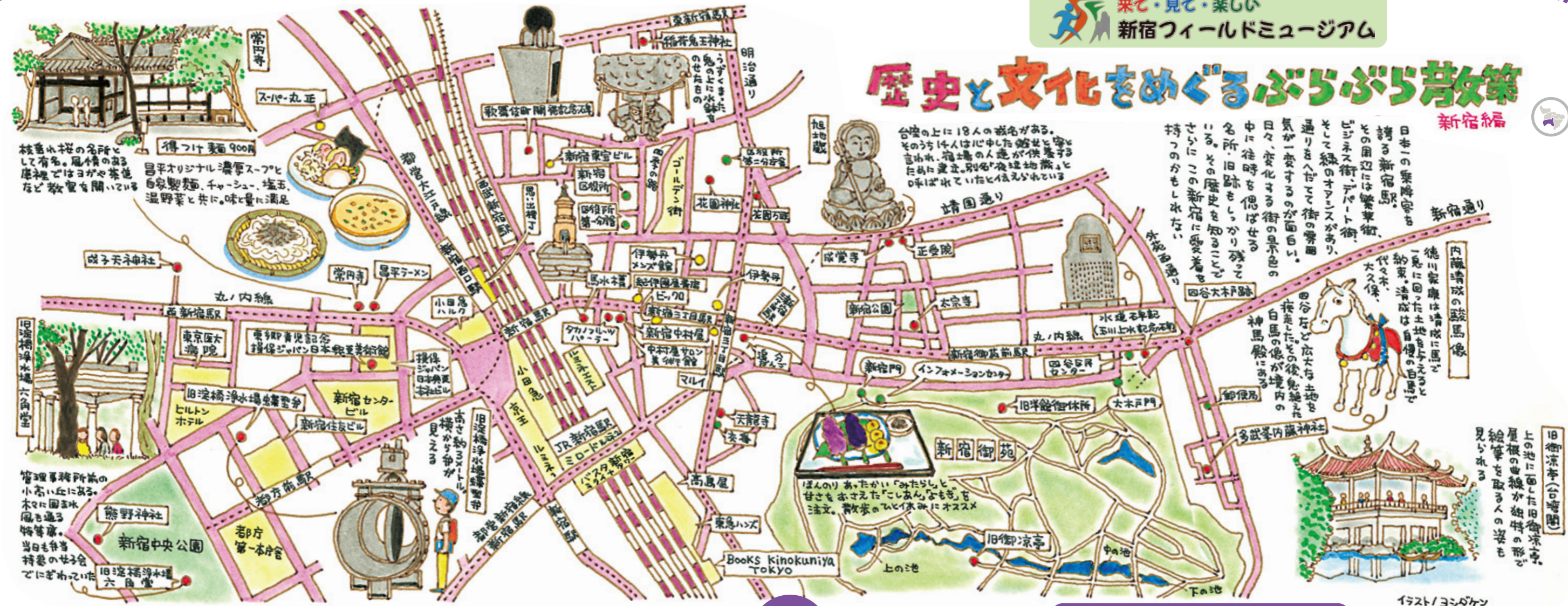


# 歴史と文化をめぐるぶらぶら歩き



歴史をたどる 今回出合った史跡・文化財

## TOPICS

### 人と文化の行き交う街「新宿」 〜甲州街道の宿場「内藤新宿」から 歌舞伎町・副都心まで〜

新宿駅西口の超高層ビル群、東口や東南口の商業施設やシネマコンプレックス(複合映画館)、歌舞伎町の盛り場、緑豊かな新宿御苑……。新宿駅周辺を歩くと、視界のなかにさまざまなまちなちの顔が現れる。そこには、このまちならではの歴史が息づいているのだ。

徳川家康が江戸を起点として整備した五街道のひとつ甲州街道。江戸から甲府を経て下諏訪宿まで三十八宿が設けられた。しかし、起点の日本橋から最初の高井戸宿までは遠く、旅人には不便であった。そこで浅草の名主・高松喜六(喜兵衛)らが幕府に請願し、元禄11年(1698)に現在の新宿御苑の北側に新たに宿場が設けられた。当時この一帯が高遠藩内藤家(現長野県伊那市)の江戸屋敷となっていたため「内藤新宿」と呼ばれ、現在の新宿区の区名の起源ともなっている。内藤新宿は江戸四宿(品川・千住・板橋・新宿)のひとつに数えられ賑わった。明治維新後は、明治18年(1885)に日本鉄道(現山手線)の新宿停車場ができるとその東側が開発され、繁華街はしだいに移っていった。昭和初期にかけてターミナル駅となった新宿駅の東口には、カフェ、映画館、劇場・百貨店などができ、サラリーマンや若

手の文学者、芸術家らが「新宿文化」を築いていった。第二次世界大戦では、新宿区域の大半が空襲により焼失し、わずかな建物を残して一面の焼け野原となった。しかし戦後すぐに、角筈二丁目に復興協力会が設立され、会長の鈴木喜兵衛が都市計画家の石川栄耀とともに新たな繁華街の計画を推進した。現在の歌舞伎町である。当初は歌舞伎の演舞場を中心とした復興プランが立てられ、「歌舞伎町」の町名も誕生した。演舞場は建設されなかったが、東京を代表する繁華街となった。

超高層ビルが建ち並ぶ都庁周辺は、戦後復興の環として開発された。この一帯には昭和40年(1965)に廃止されるまで淀橋浄水場が設けられていた。広大な跡地は副都心計画により再開発が行われ、昭和46年(1971)には日本初の高層ホテルである京王プラザホテルが開業。平成3年(1991)には東京都庁が移転し、現在のまちなみが形成された。



内藤新宿の模型

写真協力：新宿区立新宿歴史博物館



新宿駅西口の超高層ビル群

## 美術館



**東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館**  
西新宿1-26-1  
女性像で有名な東郷青児やゴッホ、ゴッガン、セザンヌなどの作品を常設展示。年6回の企画展も開催。[MAP P.10-11] B-2



**中村屋サロン美術館**  
新宿3-26-13 新宿中村屋ビル3階  
明治末～昭和初期に中村屋に集った芸術家たちの作品を中心に、日本近代美術を紹介。[MAP P.10-11] C-3

## 史跡・文化財等



**新宿御苑旧洋館御休所**  
新宿区内藤町11  
明治期の新宿御苑に建てられたモダンな休憩施設。国賓を迎えた晩餐会なども催されたといわれる。[MAP P.10-11] D-4  
※酒類持込禁止、遊具類使用禁止



**馬水槽**  
新宿3-23 JR新宿駅東口広場  
明治期にロンドン水槽協會より寄贈。馬用の水槽で、人間や小動物用の水飲みもついている。[MAP P.10-11] C-3



**太宗寺の閻魔大王像**  
新宿2-9-2  
江戸後期の文化年間に安置されたといわれる閻魔大王像。高さ約5mで都内最大の閻魔様。「内藤新宿の閻魔」として信仰を集めてきた。[MAP P.10-11] D-3



**成子天神社の富士塚**  
西新宿8-14-10  
富士講の人たちにより造られた模倣富士山「富士塚」。区内で最大かつ最後に造られたもの。[MAP P.10-11] A-2

## 神社・仏閣



**熊野神社**  
西新宿2-11-2  
室町時代、紀州の熊野三山より勧請されたのが起源。新宿駅周辺の総鎮守。[MAP P.10-11] A-3



**太宗寺**  
新宿2-9-2  
銅造地藏菩薩坐像や閻魔大王像など都・区の指定文化財多数。夏目漱石も幼少期に境内で遊んだ。[MAP P.10-11] D-3



**花園神社**  
新宿5-17-3  
旧内藤新宿の総鎮守で、尾張徳川家の花園だったとの伝承が名前の由来。西の市も有名。[MAP P.10-11] D-2



**天龍寺**  
新宿4-3-19  
天和3年(1683)に牛込から移転。二代將軍秀忠の生母西郷局の菩提寺で徳川家ゆかりの寺。[MAP P.10-11] D-3